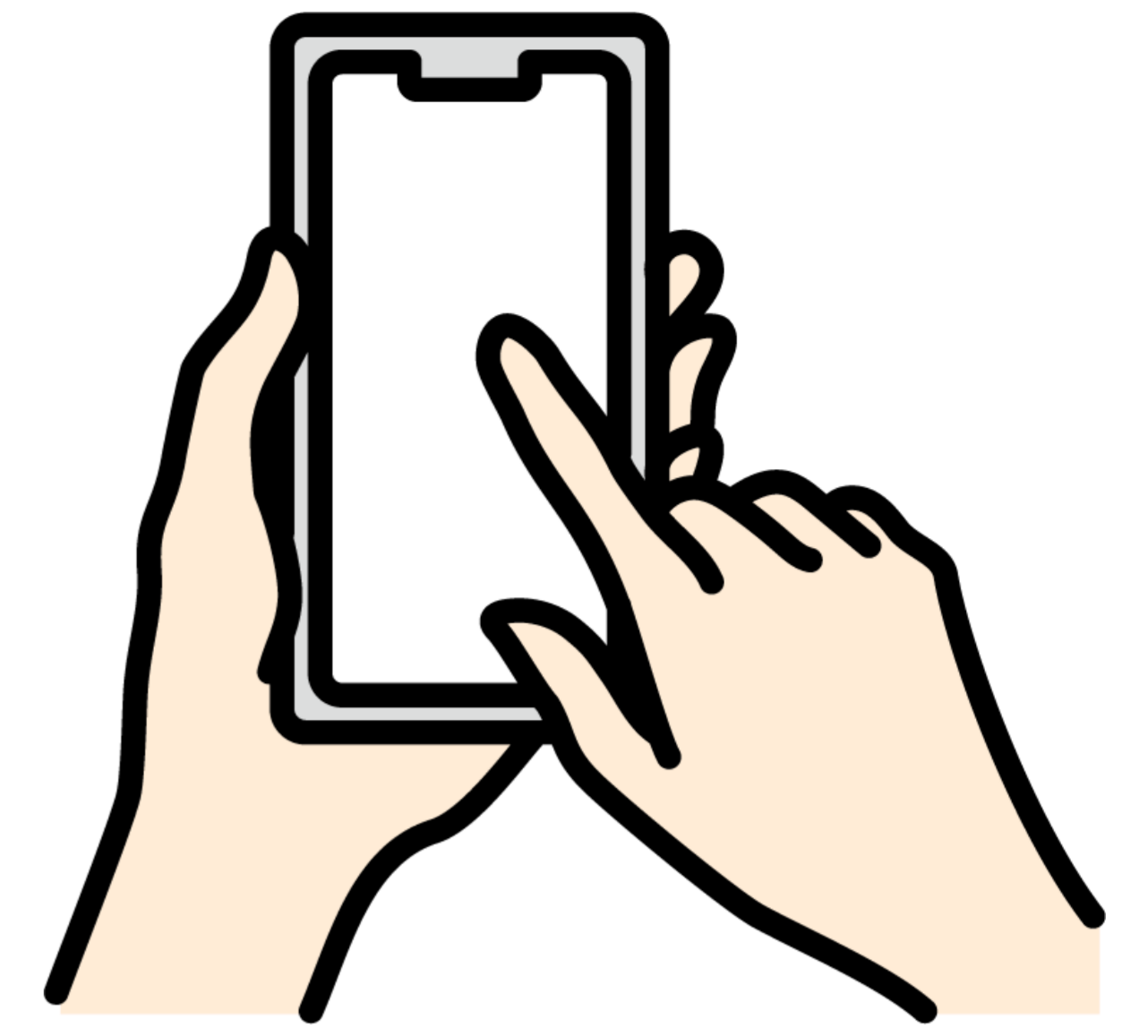


研究アイデア概要

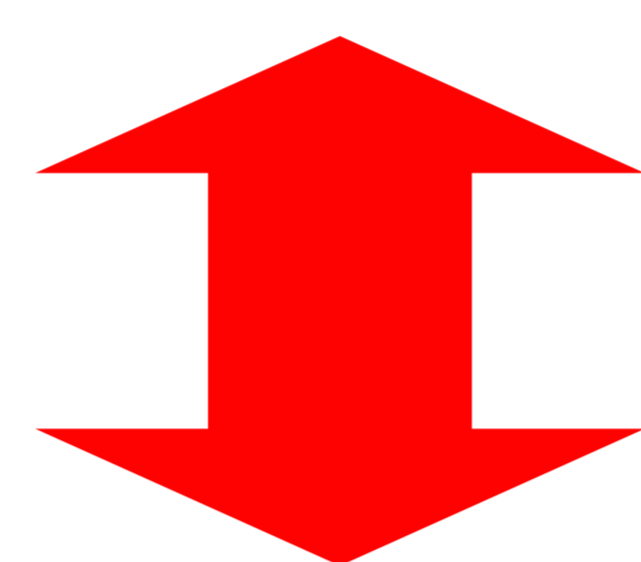
YouTube Short、TikTok、Instagramリールなどのショート動画はいずれのSNSでも操作をしなければループ再生され、スワイプする事で次の動画が再生される仕様になっている。しかし、これはユーザーの利便性を考えた時、YouTubeの通常動画のように、自動で次の動画が再生される仕様の方が便利に思われるが、なぜYouTubeをはじめとしたショート動画は自動では動画が再生されないのだろうか。



これは**操作の有無によってドーパミンの分泌を促している事が、依存性の高さに繋がっているのではないか**と考えた。そうであれば、スクロールの必要のない拡張機能をインストールした被験者は、ショート動画の視聴時間が減るはずである。

▶ 通常動画

操作が無ければ、自動で次の動画が再生される設定



なぜ??

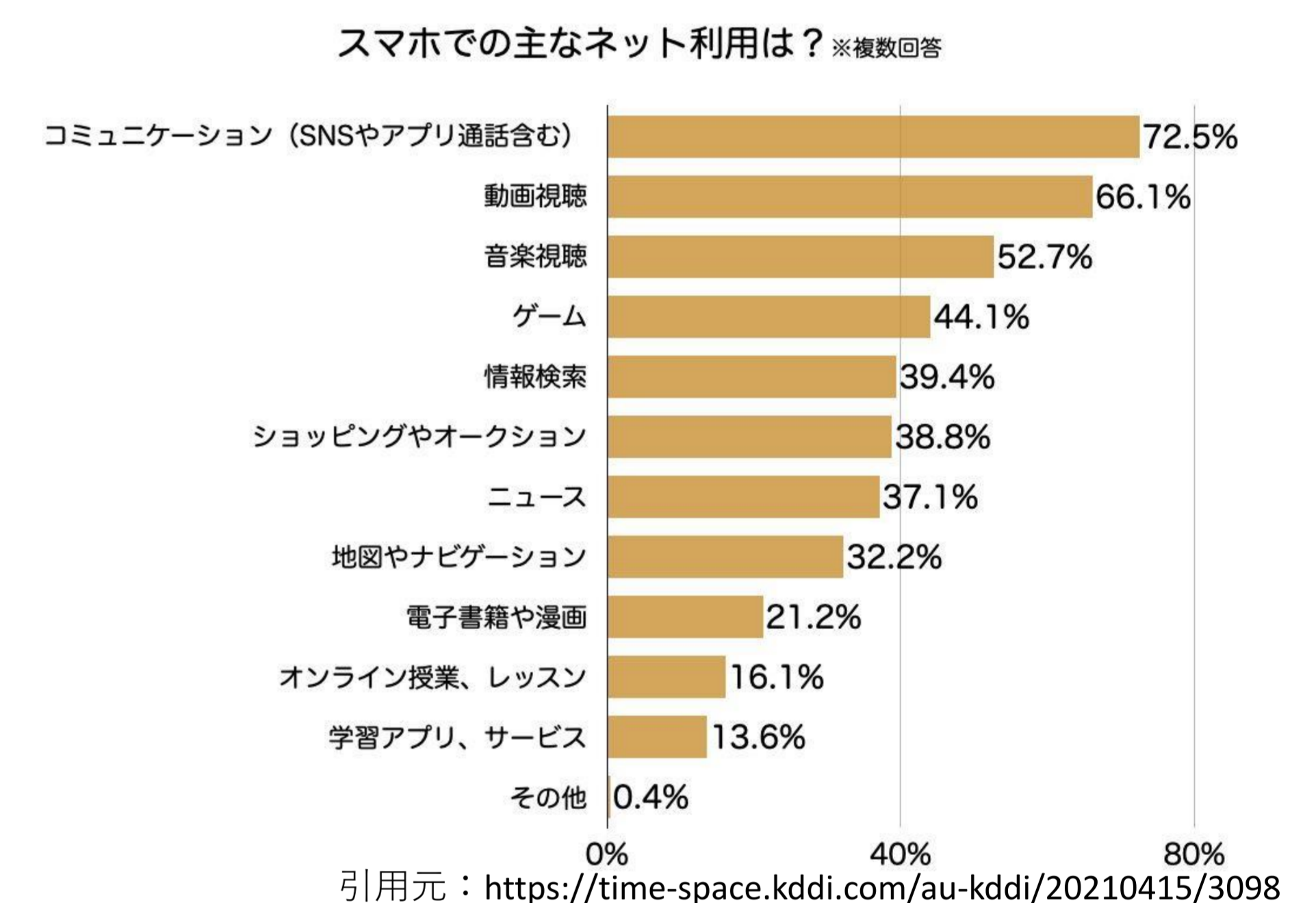
**操作の有無が
ドーパミンの分泌に
作用するのではないか**

▶ ショート動画

操作が無ければループし、スワイプで次の動画を流す

研究の目的

本研究の最終的な目的は、スマホ依存を低減することである。しかし、現代ではスマホには生活に不可欠な機能も、エンターテインメントも集積しており、完全に距離を置くことによる改善は難しい。そこでスマホでの主なネット利用の目的で65%以上が挙げた「動画視聴」の依存性低減に着目する。その中でも特に、ダラダラと見続けてしまうショート動画の依存性を低減させ、**見たい動画だけを見るスマホライフを実現したい。**そのための第一歩として、まずは操作の有無と依存性の関係を研究する。



研究計画

- ①ショート動画の再生が終わった段階で自動的に次のショート動画を再生する拡張機能を開発する。(今回はブラウザで利用可能なYouTubeを対象とした)
- ②被験者を無作為にA群とB群に分ける。A群には2週間ブラウザのみでYoutubeを視聴し、そのスクリーンタイムを測定する。そして、次の2週間では、操作の不要な拡張機能を導入した状態で2週間視聴し、そのスクリーンタイムを測定する。B群では逆の順で行うことで条件を統制する。



空間のメタファー

「気分が上がる」「Cheer up!」等

研究の発展性

上向きの動作はポジティブに、下向きならネガティブに捉えられる「空間のメタファー」がある。言語や動作だけでなく、指先の動きでも同様の現象がみられるという研究がある。

スワイプ方向を変えたり、タップに切り替える事でも動画の視聴時間に有意差が生じるかもしれない。

